

ちいさな証

私のビジョン、私の願い

瑛 美
エイ ミ

スイス日本語福音キリスト教会

私はアジアのある国で生まれました。家族と友人には誰一人クリスチャンはいませんでした。学校では、「神などいない」と教わりました。神様がもしいないのであれば、誰がこの美しい自然を創造したのだろうかとよく考えました。中学校の頃、歴史の本の中にイエスの記述があるのを見つけました。イエスは世界にある色々な宗教の創立者の中の一人であり、イエスは救世主ではないと本には書かれてありました。何故なら、彼は十字架につけられて、自分で自分を救えなかったからでした。私はこの話にびっくりして、聖書が読みたくなり、聖書を探しましたが、どこにも見つかりませんでした。教会も見つける事がむずかしかったからです。

それから数年後、大学の夏休みに、他の町に住むいとこを訪問しました。ある日、散歩していると雨が強く降ってきたので、傘を持っていない私はどこか建物に入って雨宿りしなければなりません。私は何も買いたくありませんでしたが、近くの鞆屋に入りました。入ると売り台の上に本が置いてあるのを見えました。その店員はお客さんがいない時にその本を読んでいたそうです。店員に尋ねると、その本は聖書で、自分はクリスチャンだと答えました。とても驚きました。彼は私に大学に帰ったら、神様に、神様を知ることができる場所を教えてくださいとお祈りすることを勧めました。祈り方が全然わからなかったけれども、心の中で神様を知ることができる場所を教えてくださいと祈りました。

その週末、二年間も会っていなかった高校の同級生が突然大学に私を訪ねてきて、私を聖書のグループに連れて行きたいと言いました。私は神様が私の祈りに応えてくださったと思い、その時から私は絶対に神様はいると信じるようになりました。その同級生と一緒に、聖書の集いに参加して、聖書を頂き、イエス様が人間を愛していて、十字架につけられたことを聞きました。そして教会に行くだけでクリスチャンになれることが解って、自分はもうクリスチャンになったと思っていました。福音は全然わからなかったし、聖書を読むことも全くなかったのに。大学を卒業してから、仕事が忙しくなり教会に行かなくなりました。

7年目に、私は大きな都市に住み、心はとても虚しさを感じていました。それから聖書を読むことを始めましたが、なかなか理解できませんでした。私は聖書の学びができるように、場所と先生を教えてくださいと神様にお祈りしました。そのすぐ後に、会社からパーゼルの本社で働きたいかどうかという打診がありました。神様が祈りの答えとして、パーゼルの良い教会に参加させてくださるのかもしれないと思ったので、私は会社に「はい」と返事をしました。数ヶ月後に、パーゼルに来て、初めての日曜日に国際教会の礼拝に参加しました。この教会は良い教会だと感じ

続けて行こうと思いました。聖書をよく読むようになり、聖書を読むのが楽しくなっていました。

しかし、しばらくたってから、落ち込みました。神様は神聖で罪が全然ない、しかし私は罪人で神様に近づけないと思いました。教会の人はイエス様に結ばれている人は裁かれないと言ってくれました（ローマ8章1節）。本当に何もする必要が無く、イエス様を信じるだけで十分なのだろうと思いました。でも福音は真実だと思い、それに信頼して、私の罪が赦されることを信じようと思いました。すると、すぐに神様が平安や満足や愛や喜びで私の心をいっぱい満たしてくださいました。このような素晴らしい経験はそれまでありませんでした。

それ以来、私の人生は少しずつ変わっていききました。かつて私が大切にしていたものを私は損失とみなしました。毎日の神様との歩み、御言葉の学び、教会での生活や奉仕がますます重要になってきました。聖書学校で学ぶ機会が与えられました。卒業した後、現在、神学校のオンライン修士課程を勉強し続けています。教会では、子供達に日曜学校で教えていますし、若い人たちや女性たちともよく会って、彼らが主のすばらしさを見て味わうように励ましています。

そのうちに、イエス様が広く伝えられていない国ではどうなっているのだろうと思うようになりました。何年も前に「宣教」のアイデアが頭に浮かびました。2016年以来、私は日本での宣教がいかに難しいかという話を聞き続けてきました。そして、日本は世界で二番目に未伝の国であることを聞いて驚きました。2019年に神様が日本で奉仕することを望んでおられるかどうか、祈り始めました。また、2020年1月、コロナウイルスが発生する直前に日本を訪れ、いくつかの教会を訪問しました。日本にはとてもよい教会があることがわかりました。しかし、街中の大勢の人々に比べると、日本のクリスチャンはとても少なく、社会では苦しみが多いと思いました。日本から帰国した後、日本に行くことが神様の御心なのか、もっと熱心に祈るようになりました。

神様は、私のような惨めな罪人を救い、私のような価値のない器を使うことを決められました。なんとこの恵みでしょうか。何という慈悲でしょうか。この証しを通して、皆さんが神の栄光を目にし、唯一まことの神を多くの人々に知ってもらいたいと思います。

